

知的な者ほど よく笑う

早坂 隆著

北朝鮮の核問題、政治家と政治屋、投資銀行の凋落、小沢一郎という人物・・・本書は、日本や世界を騒がせた出来事をジョークを交えて辛口分析しています。例えば、「樂觀主義」というテーマでは、【問い・樂觀主義者とは？ 答え・日曜日に五枚のシャツにアイロンをかける投資銀行家のこと。】「実在」というテーマでは、【問い・賢い投資銀行家と幽霊の共通点は？ 答え・話しには良く聞かすが、実際には見たことがない。】とありました。私は、一読しただけでは、笑えるまでちょっと時間がかかるころがあったり、??? というところがあったのですが、笑いもただ単純に笑えるものだけでなく、頭を使って聞くと笑えることがたくさんある、ということを教えてくださいました。そうすると、前者の単純な笑いにプラスして知的であるということは笑いのタネがたくさん持てる、ということなんだと気付かせてくれました。

先日、フィリピンのセブ島に行って、現地の人から聞いたジョーク。Tomorrow is Sunday. Sunday is tomorrow. Which is correct? 考えても、考えても分からずじまい。答えは、両方とも間違い。それは、聞いた日が火曜日、Tomorrow is Wednesday. なるほど。「知的な者」は、学問上のものだけではなく、頭の回転が速い、柔らかな頭を持っている人なんだと気づきました。そうじゃないと、笑いにズレが生じるんだと感じました。

Y・C・



掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞